

令和4年度 京都府立城陽支援学校 高等部職業学科ビジネス総合科 入学選考実施要項

募集学科	ビジネス総合科		募集定員	20名
通学区域等	山城教育局管内			
求める生徒像	<p>ア 学校や社会のルール及びマナーを守り、思いやりと協力を大切にする生徒</p> <p>イ 何ごとにもあきらめず、地道に努力を続ける強い意志を持ち、集団の中で役割を果たそうとする意識の高い生徒</p> <p>ウ 卒業後、企業就労し地域・社会の発展に貢献しようとする生徒</p>			
提出書類等	<p>ア 入学願書（高等部職業学科）（様式3の1）</p> <p>イ 入学願書（高等部職業学科）（様式3の2）</p> <p>ウ 受検票（写真貼付）（様式3の3）</p> <p>エ 京都府立特別支援学校高等部入学希望者調査書（職業学科）（様式3の4）</p> <p>オ 報告書（様式3の5、様式3の6及び様式3の7） 志願者の教育課程に応じて選択し、使用すること。</p> <p>カ 特別な支援を必要とすることを証明する書類（（ア）もしくは（イ）） （ア）療育手帳（写）又は医師が作成する診断書（写） （イ）療育手帳取得に係る確認書（高等部職業学科）（様式3の8）</p>			
願書提出先	住所の存する市町（組合）教育委員会とする。ただし、次の場合は、京都府立城陽支援学校へ直接提出すること。（ア 特別支援学校（京都府立以外のものを含む。）中学部に在籍する者が入学を希望する場合 イ 通学区域外に保護者の住所がある者が入学を希望する場合）			
検査項目	総合問題		作業問題Ⅰ	作業問題Ⅱ
	国語	数学	70分	70分
	各30分			
個人面接 10分程度				
検査内容等	総合問題、作業問題、面接により、職業学科の学習に必要な基礎学力、作業能力、意欲・態度や適正、対人関係能力等を総合的に把握する。			
	総合問題	国語：日常生活に必要な国語についての理解、伝え合う力、それらを活用する能力と態度		
		数学：日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解、それらを扱う能力と態度		
	作業問題	<p>作業問題Ⅰ 作業に向かう手指の操作性や持続性、指示理解等</p> <p>作業問題Ⅱ 身体の動きや就労を目指すために必要な基礎的な体力、指示理解等</p>		
面接	面接者からの質問に口頭で答える。 職業学科で学ぶ意欲・態度や適性、コミュニケーション力を把握する。			
検査会場	京都府立城陽支援学校			
集合時間	令和4年1月12日(水)午前8時30分・1月13日(木)の指定された時間			
検査実施時間割	令和4年1月12日(水)		令和4年1月13日(木)	
	8:30	集合	個人面接 10分程度 後日指定する時間に集合	
	9:00～	総合問題（国語、数学）（休憩を含む）		
10:45～14:30	作業問題ⅠⅡ（昼食、休憩を含む。）			
<p>※2日間ともに、受検者本人のみで登校する。（保護者の付き添いなし）</p> <p>※気象状況や交通機関の乱れ等に伴う時間変更等は、各学校に連絡し本校HPにて掲載する。</p> <p>※入学選考追検査日 令和4年1月18日（火）</p>				
持参品	①受検票 ②筆記用具（鉛筆（シャープペンシル可））③消しゴム及び鉛筆削り④昼食（1月12日のみ）⑤お茶 ⑥体操服 ⑦タオル⑧上靴（運動のできるもの）⑨下靴を入れる袋等 ⑩マスク			
合格者の決定	総合問題、作業問題ⅠⅡ、面接及び提出された報告書をもとに、総合的に合否を判断する。			
その他	<p>ア 「体験学習」及び「個別進学相談会」に参加すること。</p> <p>イ 原則入学辞退は認めない。</p> <p>ウ 「令和4年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等入学希望者募集要項」にある「令和4年度京都府立特別支援学校高等部職業学科入学希望者募集要項」の「3志願者の資格」を確認すること。 ・公共交通機関を利用して、通学可能な者（ただし、特別支援学校校長がその他の手段で通学することを認めた者を含む。） ・企業就労を目指す者 など</p> <p>エ 新型コロナウイルス感染症又は濃厚接触者に指定されたことにより、受検できなかった場合は、「やむを得ない理由による欠席者及び途中退場者の取扱い」と同じ手続きにより特別支援学校長に届けること。 上記の追検査日は、本検査日から2週間後の令和4年1月27日（木）、合格者の発表は令和4年1月31日（月）とする。</p>			